科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／演習　C9 (Seminars C9)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	伝承・物語		
担当者名 (Instructor)	吉原　素子(YOSHIHARA MOTOKO)		
学期 (Semester)	春学期(Spring Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	GRL3810	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

ドイツの子どもの本の歴史と特性を学び、各自の研究テーマを見つける。

Study the history and characterstics of german children books. Find own study subject.

授業の内容(Course Contents)

ドイツの子どもの本の歴史を概観し、その特性を学ぶ。教員の導入授業の後、前半はテーマごとにドイツの子どもの本の原文テキストを訳読し、教員が解説。後半は、教員の指示するテーマと原文テキストについて、グループ発表を行う。各自、最終レポートにまとめる。

Survey the history of german children books and study its characteristcs. After the introduction by the lecturer, in the first half students resd and translate the german books into japanese and the lcturer comment on them. In the latter half students must give presentations in groups on the subject the lecuturer give them. Finally write a paper on the subject.

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション
   子どもの本とは
   子どもの本のはじまり～18 世紀
2. 18 世紀:啓蒙主義
   19 世紀:①ロマン派
3. 19 世紀:②写実主義
4. スイスの子どもの本
5. 20 世紀以降の子どもの本
6. グループ発表1:ケストナー
7. グループ発表2:プロイスラー
8. グループ発表3:エンデ
9. グループ発表4:反権威主義的児童文学
10. グループ発表5;少女小説
11. グループ発表6:戦争児童文学
12. 4 年生発表
13. 4 年生発表
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

テキスト『ドイツの子どもの本－大人の本とのつながり』を読み、レポート 5000 字にまとめ、初回授業時に提出(3 年生)

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(15%)/初回提出レポート(15%)/授業への出席・参加(40%)/発表(30%)
無断で授業を欠席した場合、3回の欠席でもって D 評価とする。

テキスト(Textbooks)

1. 野村泫、2009、『ドイツの子どもの本一大人の本とのつながり(増補新版)』、白水社 (ISBN:978-4-560-08037-5)

参考文献(Readings)

1. ベッティーナ・ヒューリマン、2003、『ヨーロッパの子どもの本　300 年の歩み(上)』、筑摩書房 (ISBN:4-480-08751-6)
2. ベッティーナ・ヒューリマン、2003、『ヨーロッパの子どもの本　300 年の歩み(下)』、筑摩書房 (ISBN:4-480-08752-4)

その他（HP 等）（Others(e.g.HP)）

注意事項（Notice）